

第6回通学区域制に関する有識者会議の概要について

1 日 時 令和7年1月29日（水） 午後1時から午後3時まで

2 場 所 徳島県庁 10階 大会議室（徳島市万代町1丁目1番地）

3 出席者

- （1） 委員 17名中16名出席（欠席1名）
- （2） 県 教育次長、教育創生課長 ほか

4 議事の概要

- （1）事務局から、これまでの議論等について説明が行われた。
- （2）事務局から、通学区域制の見直しの具体例等について説明が行われた。
- （3）事務局から、報告書（素案）について説明が行われた。
- （4）委員による意見交換が行われた。

5 意見交換の概要

- 「移行措置における流入率の引上げ幅」について、主に、「子どもたちに大きな混乱を来さないこと」といった観点と、「少しでも早く不公平感を取り除くべき」といった観点から、議論が交わされた。
- 流入率の引上げ幅については、令和8年度入学者選抜は2%、令和9年度及び令和10年度入学者選抜は、学区撤廃時に生徒や学校現場等が混乱しないよう、引上げ後の選抜結果等を勘案して、県教育委員会において決定することで意見がまとまった。
- 報告書（素案）として、「入学者選抜（公立高校普通科の通学区域制）に関する提言」、「今後の検討を要する事項」及び「公立高校の在り方の方向性に関する意見」を提示し、検討・確認を行った。
- 報告書には、「学区の撤廃にあたり混乱を来さないよう周知を徹底すること」、「高校の特色化・魅力化では地元や保護者等の協力を得ること」といった内容を加えることが望ましいなどの意見を頂いた。
- 第6回会議をもって議論を終了することとし、有識者会議の「報告書」については、期限を設けて各委員からの修正案を受け付け、座長一任でまとめていくこと、及び後日、座長から教育長に提出することが確認された。